

同学院から12名、事務所協会の武岡光明会長は「仕事を長く続ける秘訣は、それぞれが目標をしっかりと決めて、人々の役に立つて人の役に立つて、常に意識した仕事したい」と合格した。合格した人は、仕事を楽しむこと。これから責任も伴い、様々な苦労やプレッシャーもかかることもあると思うが、自分の仕事に自信を持って楽しんでいくことによって、周りからいろいろなアドバイスをもらえる。それ

の「が發揮できると思っ  
れいる。それをさらに強  
化し、沖縄に貢献して  
いきたい」と話した。  
また、山城代表は、  
座波商会への譲渡で職  
員が安心して働ける環  
境を残せたとし「第一  
三興グループの事業体  
も将来に向けしっかりと  
成長できると考え、事  
業継承を決断した」と  
述べた。

## 入札契約制度の特徴など説明 経済調査会 公共工事に関する講習会

(一財)経済調査会  
は12月19日、那覇市の  
沖縄産業支援センター  
で公共工事の契約と設  
計変更に関する講習会  
を開催した。  
基調講演では、日本  
大学危機管理学部教授  
で(一社)沖縄しまた  
て協会理事長の木下誠

会社、学院の皆さまに大変感謝し  
ている」と謝意を示した。  
2級建築士試験に合格した比嘉  
ユリアさんは「私は以前、学習へ  
のコンプレックスから、建築士を  
諦めた経験があるが、建築が好き  
という思いを原動力に小学生の参  
考書からやり直して、一から学習

也氏が日本の入札契約  
制度の特徴や品確法の  
変遷、現状の課題など  
について解説した。  
木下氏は日本の入札  
制度の特徴について、  
予定価格の上限拘束や  
買入れと売り払いが  
同じ扱いで、世界的に  
類を見ない制度と指  
摘。2005年に制定

された公共工事の品質  
確保の促進に関する法  
律(品確法)では、公正  
さを確保しつつ良質な  
モノを低廉な価格でタ  
イムリーに調達し提供  
することを発注者責任  
としたことや、総合評  
価方式の導入、技術力  
の脆弱な発注者を支援  
する仕組みを構築した  
ことなどを解説した。

15年の品確法改正で  
は、適正な利潤を確保  
できるよう、経済社会  
情勢の変化を勘案した  
予定価格の設定が可能  
になったこと、交渉  
方式を含む多様な方式  
を導入することになっ  
たと説明。さらに19年  
の品確法改正では、災  
害時の緊急対応の充実  
強化をはじめ、適正の  
工期の設定など働き方  
改革への対応、ICT  
活用による生産性向上  
への取り組み、公共工  
事に関する調査・設計  
を対象として位置づけ  
る品質確保、発注者の  
体制整備などが盛り  
込まれたと紹介した。

一方、近年の落札率  
低下や不調・不落につ  
いては、労務・資材等  
の価格上昇により、利  
潤を確保できない仕事  
を落札したくない企業  
と、官(発注者側)の  
積算過小により、「応



祝賀全

札者がいない」「応札  
価格が予定価格を上回  
る」という不調・不落  
が発生していると分  
析。公共事業調達の現  
状として、技術競争が  
十分に働かないこと  
や、価格の決まり方が  
市場ではなく官が決定  
する片務構造であり、  
会計法令等の限界であ  
ると指摘し、最新の実  
態を反映した予定価格  
や交渉方式の導入など  
予定価格制度の見直し  
が必要との見解を示し  
た。  
講習会では、同調査  
会の永江造一郎技術顧  
問・参与が契約変更に  
必要な土木工事積算の  
基礎について説明した  
ほか、同調査会の和田  
祐二技術顧問・参与が  
条件明示と設計変更・  
契約変更について解説  
した。

ト・ビジネス空港の実  
現、キャンプ・キンザー  
市総合交通ターミナル整  
備、名護東道路の延伸な  
の活用、本部港へのク  
などをあげた。



トークセッションで意見を交わした

<本日のお題目>  
**沖縄の風土環境を支える  
インフラ整備を考える**  
○沖縄独特の文化・風土・環境の中で、インフラ整備が  
どのように工夫されて整備・維持されてきたか  
○沖縄での実績が日本の土木技術の発展に寄与してきたか  
○今後、差し迫った課題に対してどう対応すべきか

建築家のためのBIMソフト  
トウエアの開発・販売などを  
行うグラフィックソフトジャ  
パン(東京都)は2月2日に、  
那覇市の県立博物館・美術館  
でセミナーを開催する。セ  
ミナーは企業のBIM導入支  
援を目的に開催するもので、  
講師に松井建設(株)の多田幸  
弘ICT推進室長を招き、グ  
ラフィソフト社製BIMソフト  
トウエア「Archicad」  
を使用した事例を紹介する

### 来月2日にセミナーを開催

ほか、グラフィックソフトジャ  
パンの社員によるプレゼンテー  
ションなどを行う。定員は80  
人。参加費は無料。  
詳細は次の通り。  
日時 2月2日14時~16時  
30分(受付は13時30分~)、  
会場 県立博物館・美術館  
定員 80人、参加費 無料  
参加方法 1HP (https://  
graphisoft.com/jp/events  
/roadshow)から必要事項を  
記入し申込み。